

H30.3.1 東淀川区区政会議（仮）教育・子育て部会 議事概要

※枠内は委員意見、枠外は区役所職員

日時・場所 平成30年3月1日(木)午後7時から9時 東淀川区役所3階304会議室

出席者 教育・子育て部会委員9名、他部会委員1名

議題1 議長・副議長の選任

友實議長、岡本副議長を選任。

議題2 部会名について

「教育・子育て部会」に決定。

議題3 平成29年度運営方針年度内振り返り

議題4 平成30年度運営方針（案）・予算（案）

議題5 これまでの意見へのフィードバック

（平成29年度事業について）※課題解消が進んだ・芳しくない事業、効果がみられる・上がらない事業

- 【3-1-5 地域子育て支援拠点事業（ひろば型）整備】支援拠点が地域の子育てに役立っていると感じる割合について「満足」を含めていいのか。「とても満足」だけだと47.3%で未達成では。
- 【3-2-2 多様な保育ニーズへの対応】一時預かり事業の利用人数は17.1%増加している。周知活動が成果を上げられた。成果（需要）も高いと思う。
- 切れ目のない子育て支援は、子どもだけでなく親も育ていく、地域もすべてを巻き込んだの大きな事業。区政会議で話し合うなかでいろいろと具体的に前進していると思う。

- ・区独自の一時預かり保育事業については、利用者数が下降傾向にあったが、区政会議で「ニーズはあるはず」、「認知度が足りない」というご意見をいただき、検討し周知した結果、増加した。

（アンケートについて）

- アウトカムのミスリードを起こすような設定は答える側も難しい。上手なアンケートの設定をお願いしたい。

- ・少数の方からしか回答いただけていないアンケートについては、多くの方が来られたときに聞くなども検討したい。
- ・また、アンケートに関しては、書きやすいと思っていただくような設問の仕方など、回答いただく側の目線からの改善を加えたい。引き続きご議論賜りたい。

(29年度の課題を踏まえた30年度事業への意見) ※継続・発展させる事業、改善点や新たな課題など

- 【登校登園サポート】新たな事業でありポイントとなる。進捗状況を確認していきたい。
- 【こんにちは赤ちゃん訪問事業】訪問件数も増え、よかったとの声も増えている。広報紙で訪問員の写真が大きく取り上げられたことで、訪問される側も安心して訪問を受けられるようになった。母子手帳交付時や3か月検診の際など様々な場面でお知らせをするなど働きかけてはどうか。
- 【助産師による専門的相談事業】相談件数を目標にしているが、相談がたくさんあることがいいことなのか。主体が逆では。来られた方が相談した結果「満足度が上がった」「解決度の割合が高くなった」などにしてはどうか。アウトカムの設定は注意が必要。
- 【居場所づくり】現在8地域でしておられ、利用者も増えてきているということだが、しんどい子どもたちに来てもらうため、友達なども来られるようにした方が裾野が広がるのでは。
- 【居場所づくり】目標を新規開設数にしているが、数ではなくて中身が大事なのは。
- 【中学生勉強会】生活困窮支援の面で効果が上がっているが、該当せずそこに行けない子どもたちをどうフォローするか。地域での居場所や学習支援などでサポートしていければいい。
- 【自尊心向上のための教育支援事業】学校や学校協議会なども含め実情に合った形に改善を。
- 【分権型教育の推進・学校を活用した地域連携事業】継続して取り組んでほしい。
- 自尊心や学力・体力がなかなか上がらないが、夢を与えるようなことを地域でできればいい。

- ・区政会議で「自尊心や自己肯定感を高めボトムアップをすることが必要」、「子どもたちが安心できる居場所が必要」という意見をかなり前からいただき、今年度から居場所づくり・学習支援の事業に進んだ。
- ・居場所づくりに関しては、裾野を広げている段階。まずは始めていただき、そこから、子どもへの関わり方や広め方について事業者や地域の方と話をしていくことが大事。
- ・自尊心向上のための事業は、学校の意向に沿った形で、30年度からアラカルト方式で（ゲストティーチャー派遣と劇団派遣を）選べるようにした。実際に実施される学校等の意向を伺うのは大事。
- ・働きかけについて、検診時など区民の来られるところで周知するような工夫もしていきたい。